

★アメンボのふしぎ★

アメンボは水面を自由に滑るように動きますが、どうしてこのようなことができるのでしょうか？ ふつうの虫ならば、沈んでしまうか、水に足を取られて身動きすらできません。

■なぜ、水面を動き回れるの？

アメンボの足をよく見てみましょう。足の先は細かい毛に覆われていて、足から出る油分が毛をコーティングしています。このことにより水をはじき、表面張力により水面に浮かんでいられます。また、アメンボの細長くて軽い体も、表面張力を生み出しやすい条件のひとつです。

そして、中足をボートのオールのように動かし、後足でかじを取って動き回ります。

■汚れた水に弱いアメンボ

水の上を動き回るアメンボですが、アメンボのいる水に洗剤を1滴落としてみたら、どうなるでしょうか？ あれだけ自由に動いていたアメンボが、足を取られて、しばらくすると沈んでしまいます。

これは、洗剤（界面活性剤）によって、水の表面張力が失われたのに加えて、足の油脂分も分解されて毛のすき間に水が浸入したためです。しかし、すぐに救い出して体を乾かせば、また浮くことができるようになります。

1滴の洗剤により、アメンボがおぼれてしまうなんて驚きですね。でも、私たちは生活排水として、洗剤を含んだ汚水を流すことがあります。このことによって、アメンボを含む水生昆虫の生活が脅かされることになることを今一度、考えてみましょう。



アメンボ



アメンボの足の拡大

★ホタルについて★

■ホタルってどんな昆虫ですか？

ホタル（ホタル科）は、コウチュウの仲間です。体は柔らかく黒っぽい色をしていて、大きさは1cm前後です。ホタルといえば光ることで有名ですが、光らないホタルもたくさんいます。

■石川県には何種類いるの？

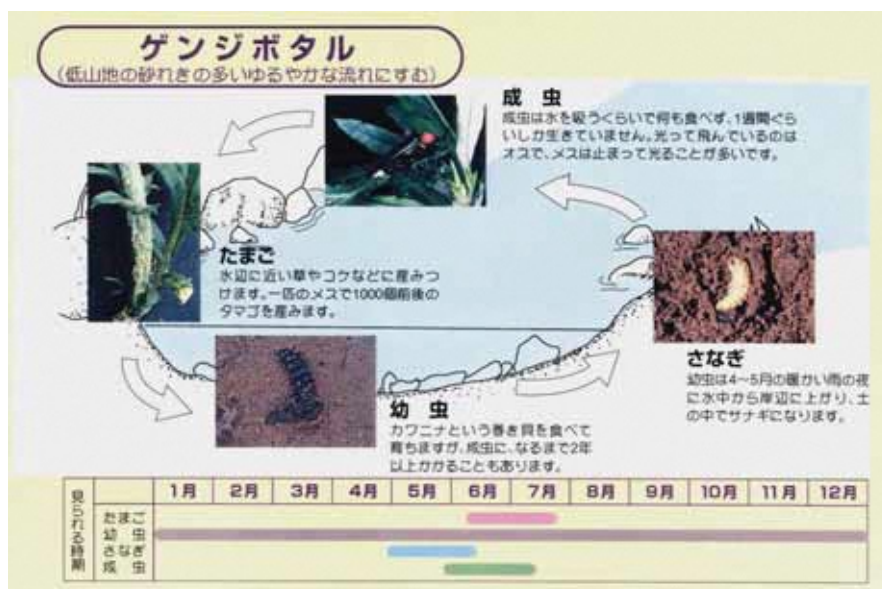
県内には9種類のホタルが見つかっています。ゲンジボタルやヘイケボタルは有名で、幼虫は水中でくらしませんが、他のヒメボタル、マドボタル、オバボタルなどの幼虫は陸上で生活しています。実は、世界的に見ても幼虫が水中でくらす種類はとても少ないのです。

■なぜ光るの？

たとえばゲンジボタルは腹部の先端に発光するところがあります。オスの発光は一斉に点滅を繰り返しますが、メスは不規則に光ります。光り方を違えることによって、オスがメスを見つけることができるのです。すなわち、光でオスとメスがコミュニケーションをとり、出会って交尾し、繁殖しているのです。

■どんなくらしかたなの？

ゲンジボタルの場合、成虫は6月に現れ、おもに夜間に活動します。交尾後、卵を水ぎわのコケや枯れ草に産み付けます。ふ化した幼虫は水の中に入り、カワニナという貝を食べて育ちます。成長した幼虫は1～2年目の春に上陸して土中でサナギになります。



ゲンジボタル



ヘイケボタル



ゲンジボタルの光り



上陸したゲンジボタル幼虫